

新技術ニーズ調査の詳細分析等

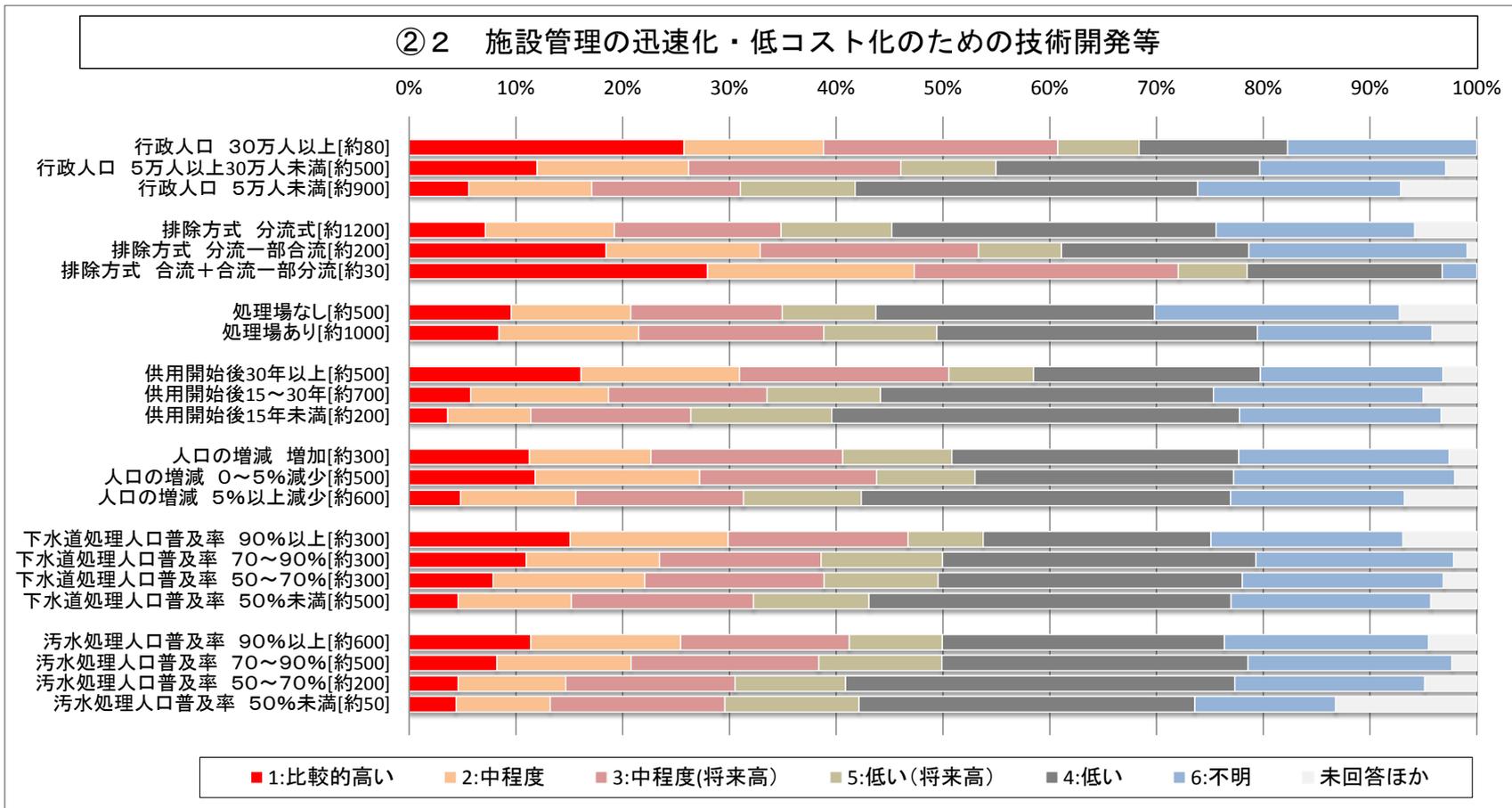
資料-3

- ◆ 前回委員会ではニーズ調査(アンケート調査)の結果の概要について報告
- ◆ 団体の特性によるニーズの分析
 - ①行政人口 ②排除方式 ③処理場有無 ④経過年数 ⑤人口増減
 - ⑥下水道処理人口普及率 ⑦汚水処理人口普及率
- ◆ ロードマップ重点課題及び特徴的なニーズが見られた技術について報告
 - [ロードマップ重点課題(短期～中期)]
 - ②2 施設管理の迅速化・低コスト化のための技術開発等
 - ⑨1 下水道で地域バイオマスを活用する技術
 - ⑪1 下水道の消費エネルギー約1割削減に向けた技術
 - [ロードマップ重点課題(中期～長期)]
 - ③2 大規模地震を対象とした耐震対策手法、優先度評価手法
 - ⑤4 不明水の実態把握、影響評価と有効な対策の確立
 - ⑦4 病原微生物の制御、⑦5 病原微生物の抽出、監視システム
 - ⑨3 リンなどの有用資源回収、⑨5下水灰の肥料化
 - [特徴的なニーズが見られた技術]
 - ①2-1 クイックプロジェクト技術等
 - ③1-1 段階的な下水道BCPの策定方法

ロードマップ重点課題(短期～中期)のニーズ

②2 施設管理の迅速化・低コスト化のための技術開発等

- ◆ 人口が多く、経過年数が長く、普及が進んでいる団体ほどニーズが高い
- ◆ 30万人以上では20%以上が比較的高いと回答、中程度を含めると60%以上のニーズがある

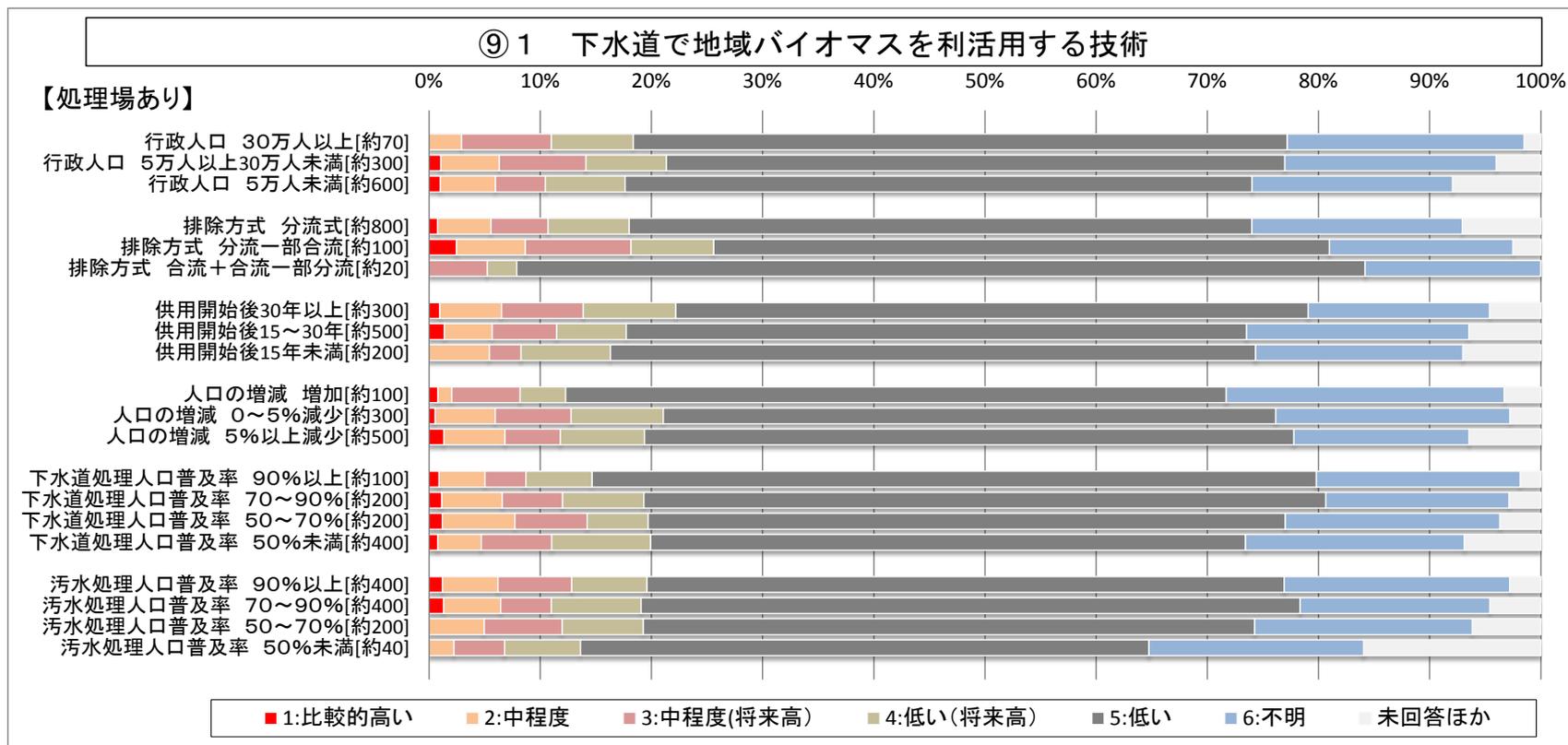


※[]内は団体数

ロードマップ重点課題(短期～中期)のニーズ

⑨1 下水道で地域バイオマスを利用する技術

- ◆ 経過年数が高い団体ほどニーズが高い
- ◆ 人口が増加している団体、汚水処理人口普及率が低い団体では比較的ニーズが低い



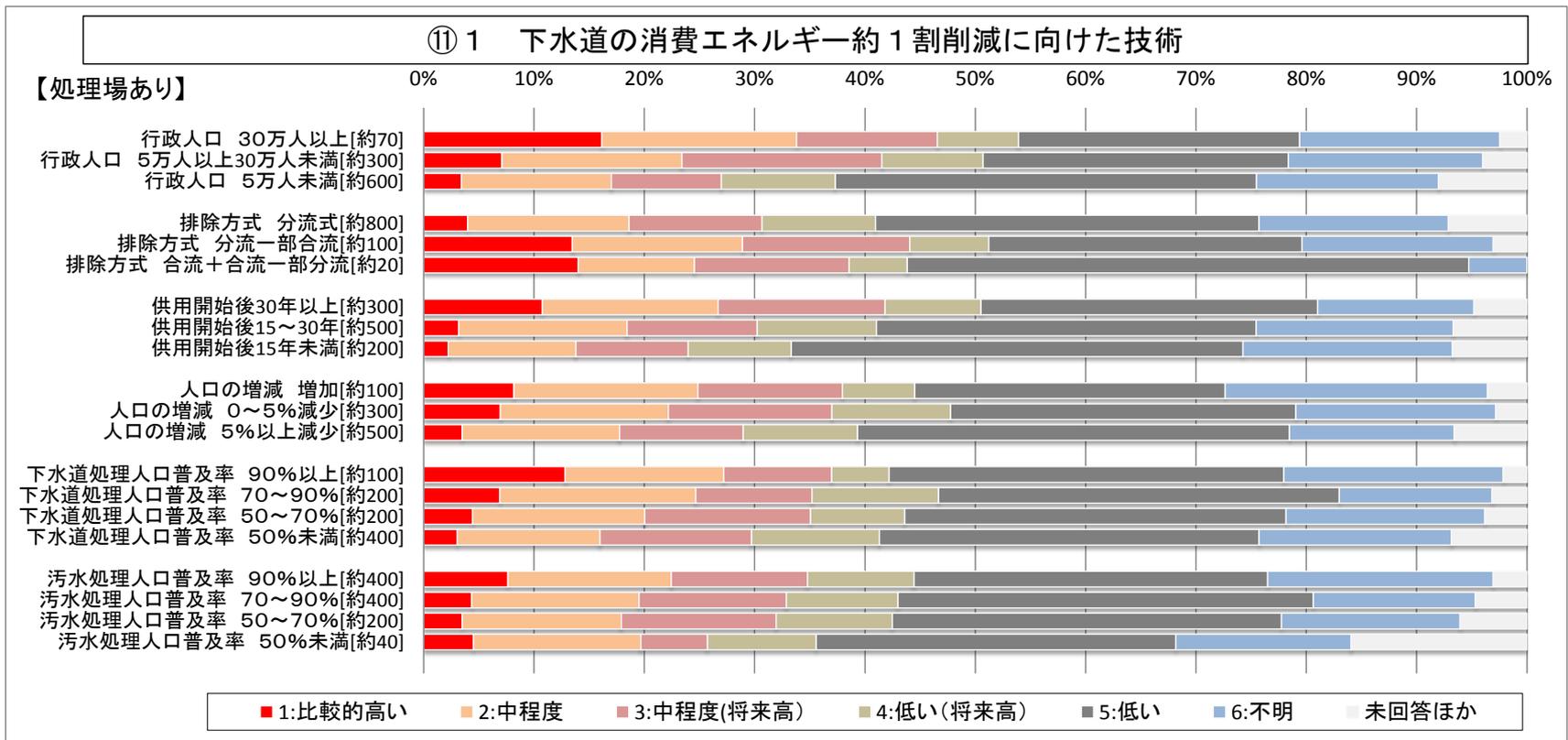
※1 処理場を有する団体の集計結果

※2 []内は団体数

ロードマップ重点課題(短期～中期)のニーズ

⑪1 下水道の消費エネルギー約1割削減に向けた技術

- ◆ 人口が多く、経過年数が長く、普及が進んでいる団体ほどニーズが高い
- ◆ 30万人以上では20%程度が比較的高いと回答、中程度を含めると50%以上のニーズがある

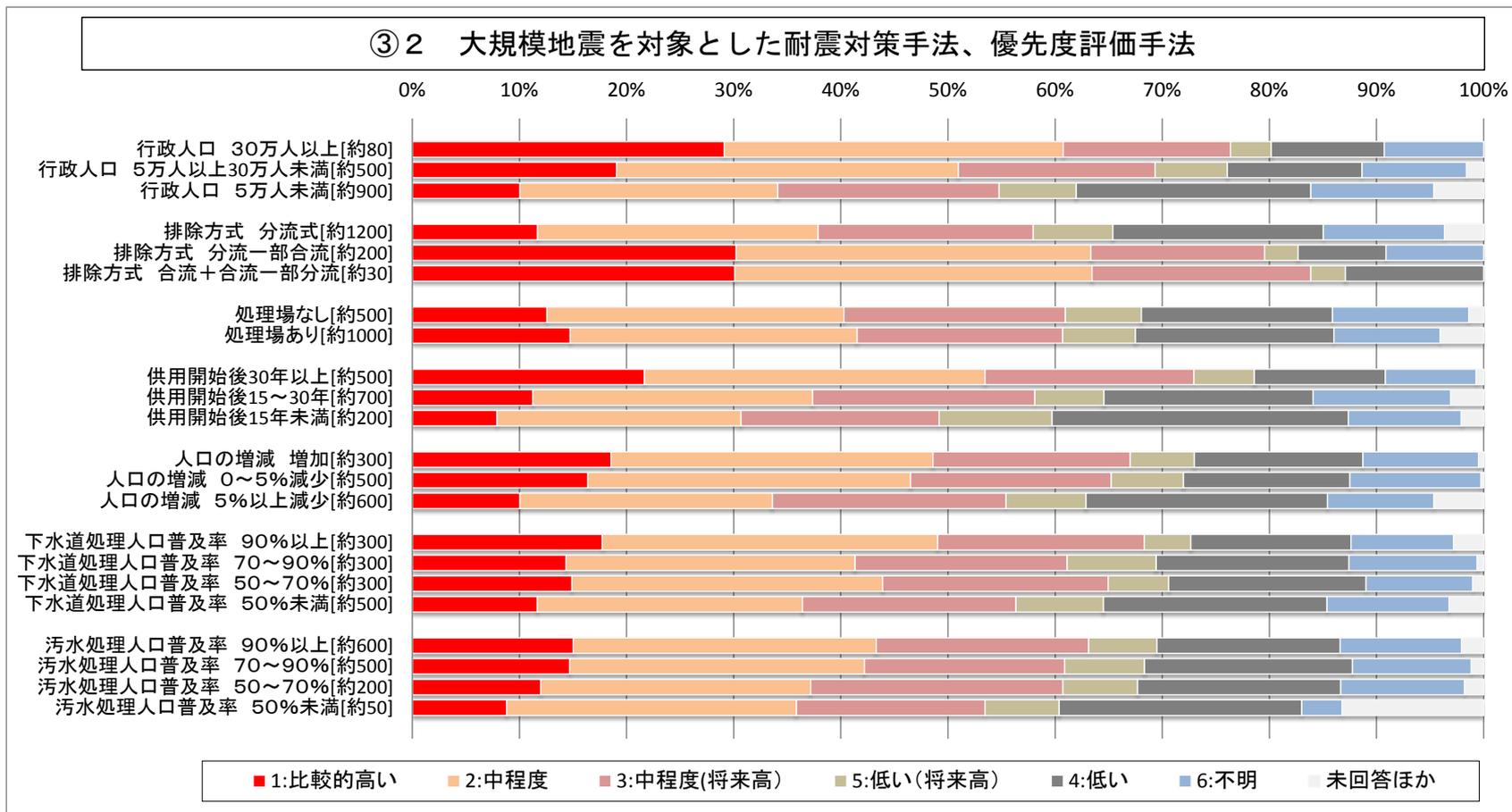


※1 処理場を有する団体の集計結果
 ※2 []内は団体数

ロードマップ重点課題(中期～長期)のニーズ

③2 大規模地震を対象とした耐震対策手法、優先度評価手法

- ◆ 人口が多く、経過年数が長く、普及が進んでいる団体ほどニーズが高い
- ◆ 30万人以上では30%程度が比較的高いと回答、中程度を含めると70%以上のニーズがある

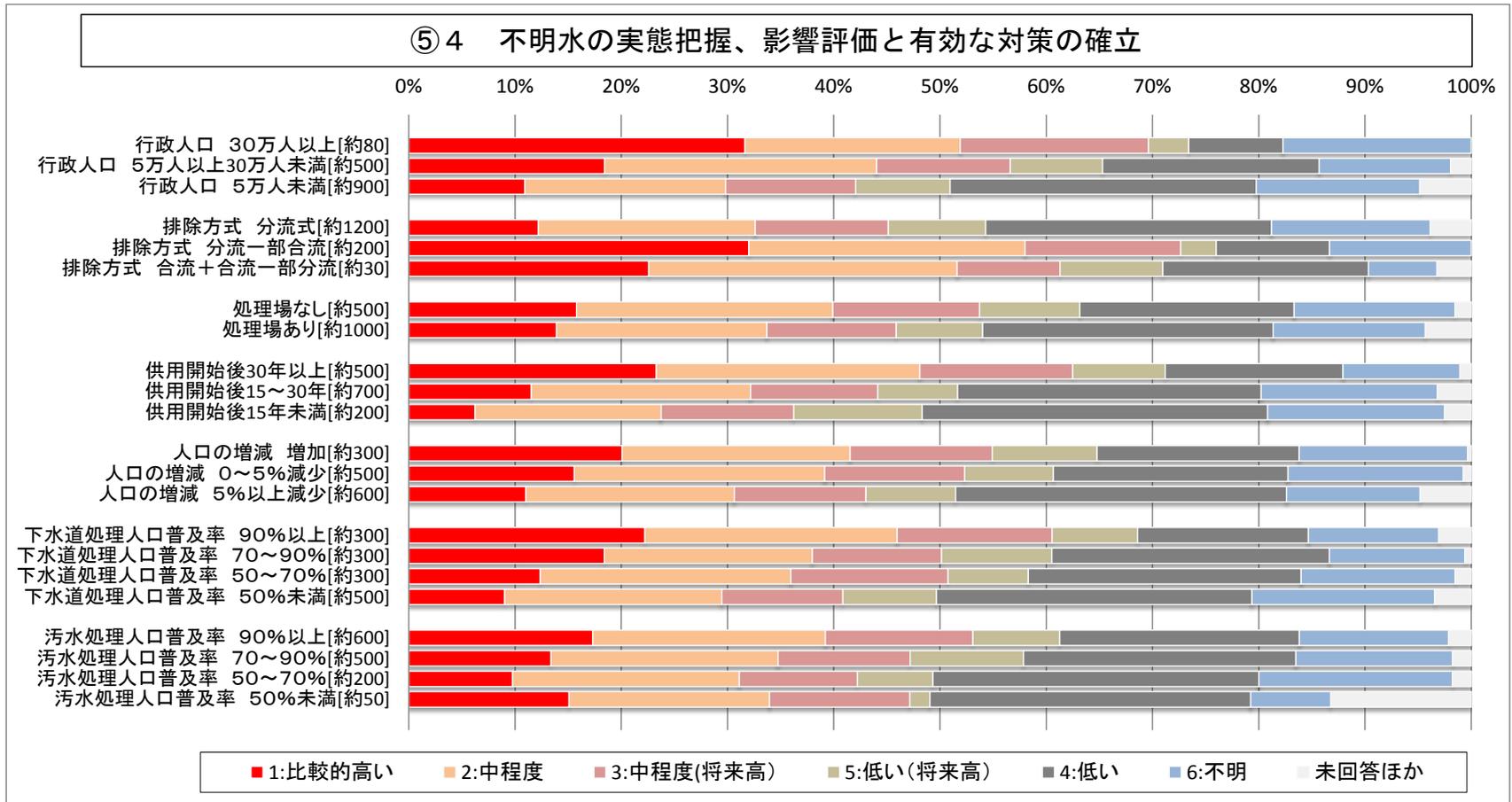


※[]内は団体数

ロードマップ重点課題(中期～長期)のニーズ

⑤4 不明水の実態把握、影響評価と有効な対策の確立

- ◆ 人口が多く、経過年数が長く、普及が進んでいる団体ほどニーズが高い
- ◆ 分流一部合流式でニーズが高い
- ◆ 30万人以上、分流一部合流式では30%以上が比較的高い、中程度を含めると70%程度のニーズがある

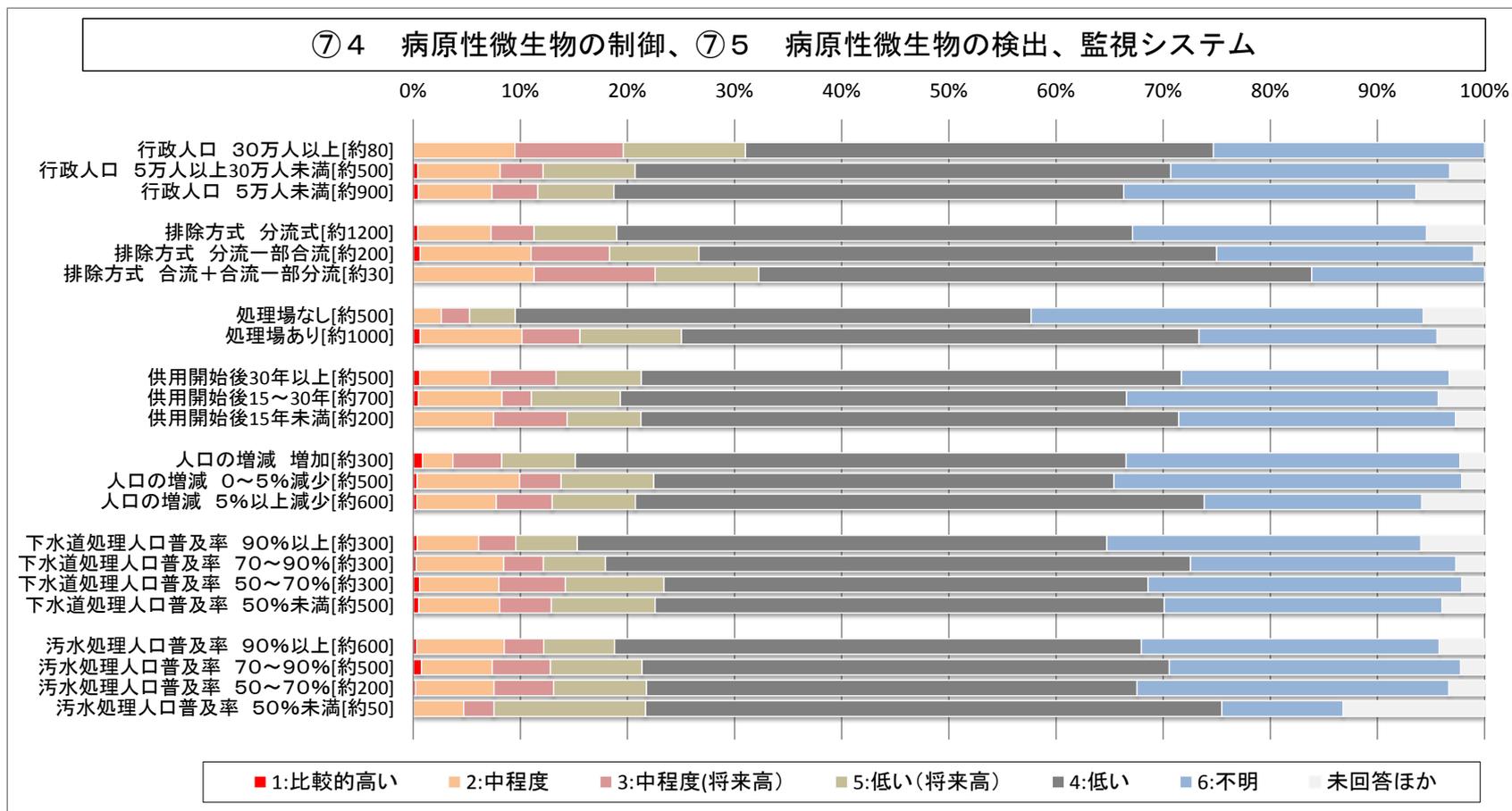


※[]内は団体数

ロードマップ重点課題(中期～長期)のニーズ

⑦4 病原微生物の制御、⑦5 病原微生物の抽出、監視システム

- ◆ 人口が多い団体ほどニーズが高い
- ◆ 合流式でニーズが比較的高い

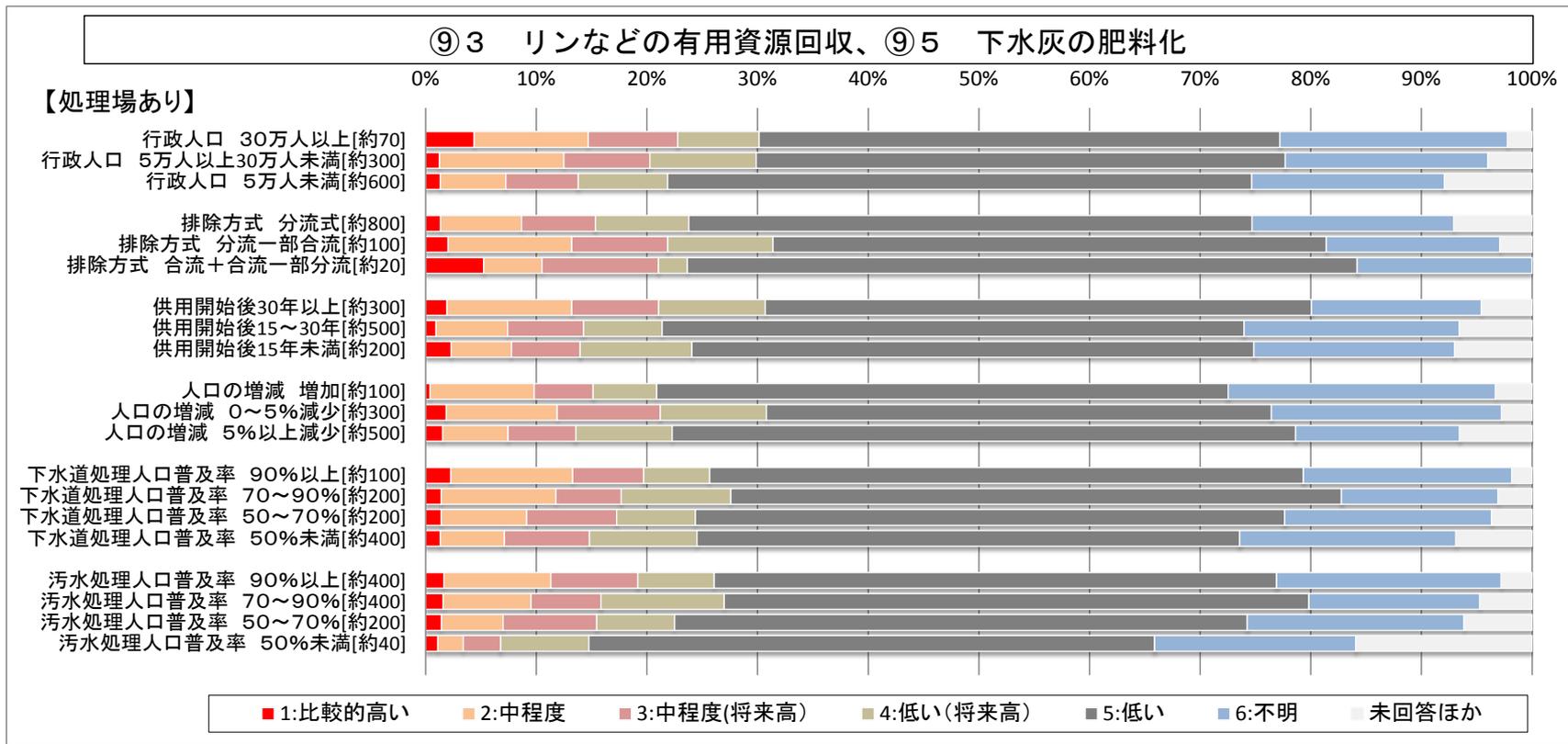


※[]内は団体数

ロードマップ重点課題(中期～長期)のニーズ

⑨3 リンなどの有用資源回収、⑨5 下水灰の肥料化

- ◆ 人口が多く、経過年数が長く、普及が進んでいる団体ほどニーズが高い
- ◆ 30万人以上、供用開始30年以上では中程度を含めると20%以上のニーズがある

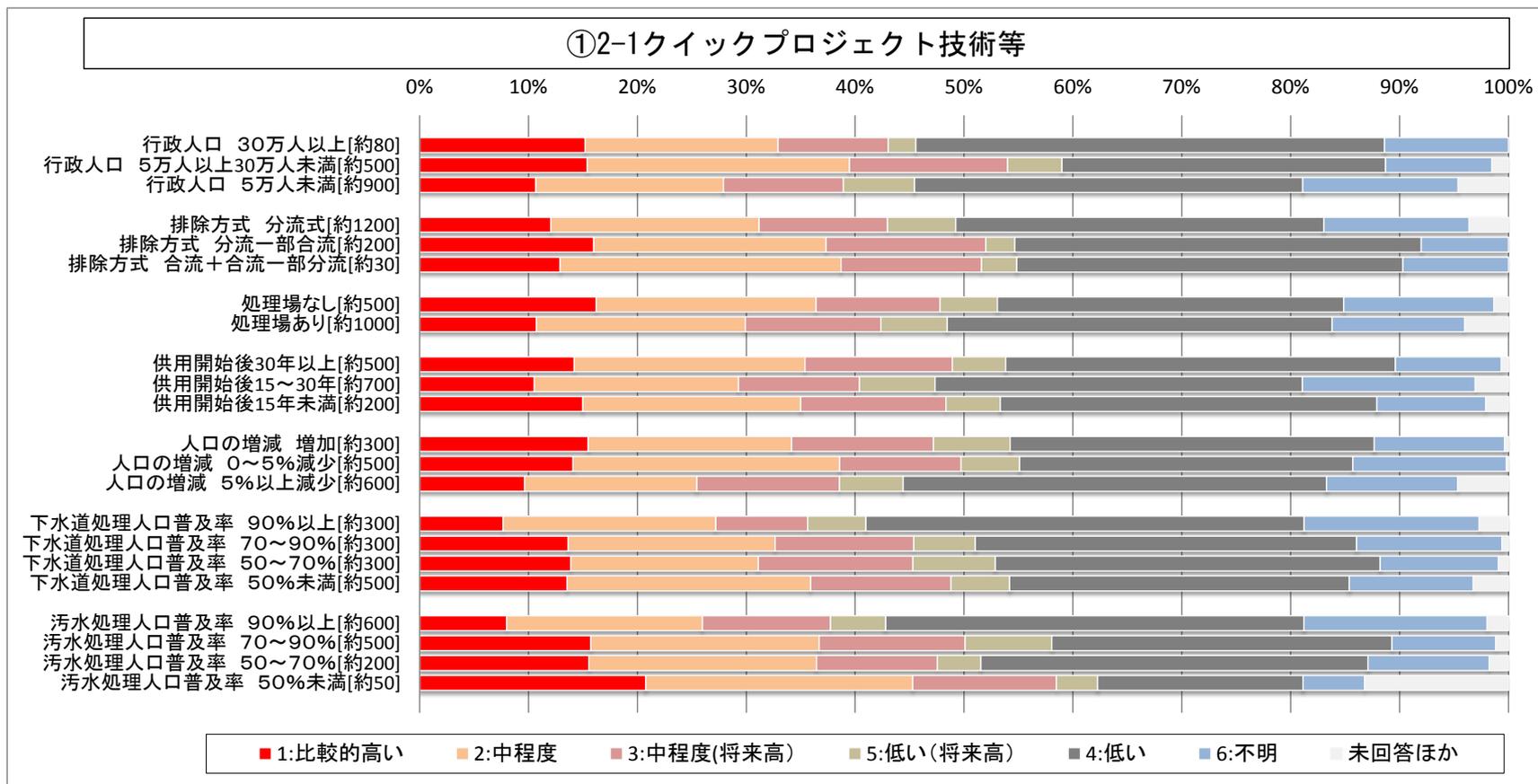


※1 処理場を有する団体の集計結果
 ※2 []内は団体数

特徴的な傾向のあったニーズ

①2-1 クイックプロジェクト技術等

- ◆ 汚水処理人口普及率が低い団体ほどニーズが高い
- ◆ 汚水処理人口普及率50%未満では20%以上が比較的高い、中程度を含めると60%程度のニーズがある



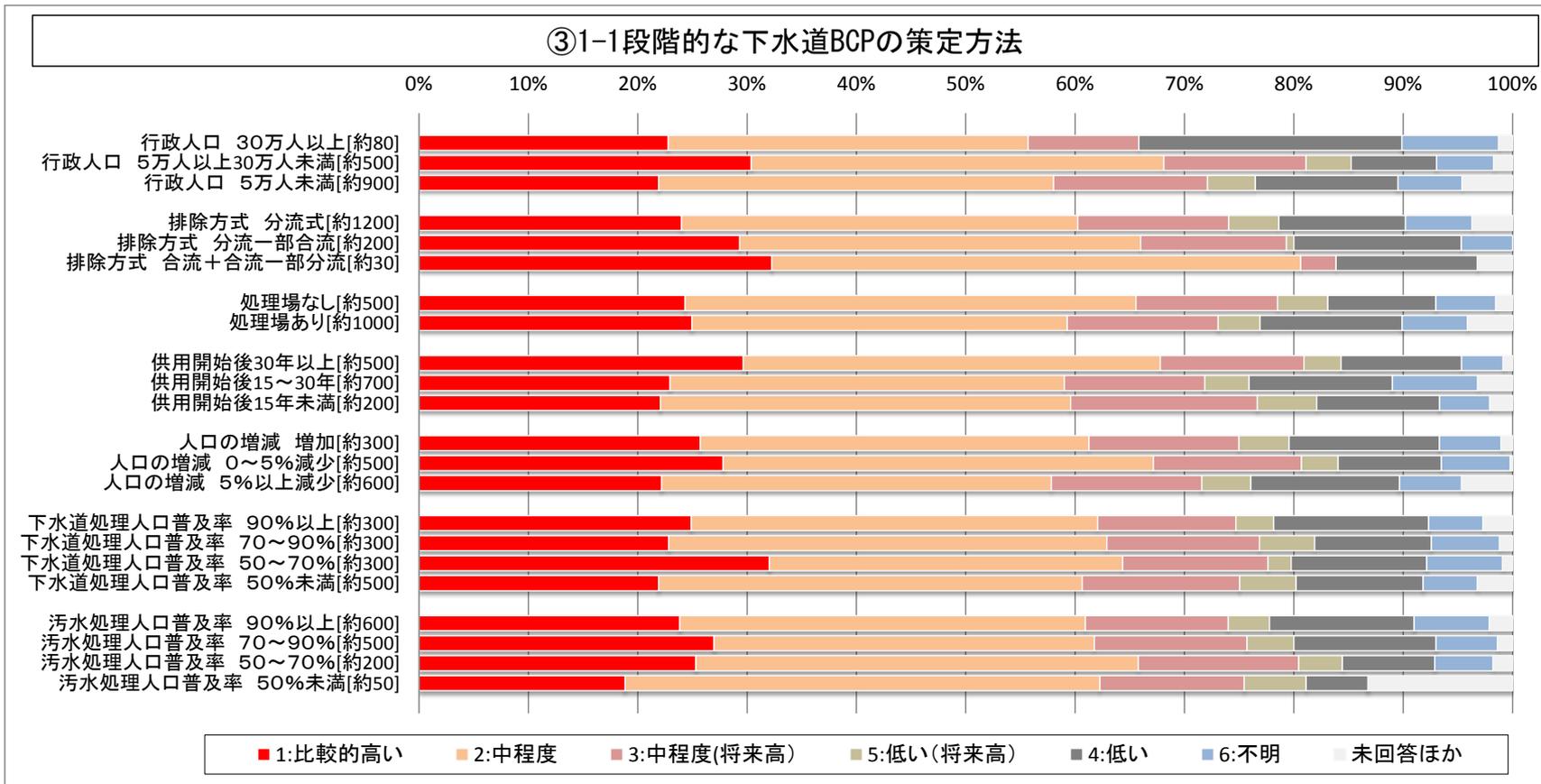
※[]内は団体数

特徴的な傾向のあったニーズ

③1-1 段階的な下水道BCPの策定方法

◆ 全体的にニーズが高く、20～30%程度が比較的高いと回答、中程度を含めると60～80%程度のニーズがある

③1-1段階的な下水道BCPの策定方法



※[]内は団体数

ヒアリング調査について

- ◆ アンケートだけではニーズの把握に限界があることから、ヒアリング調査を実施中
- ◆ 下水道新技術導入に関する好事例(導入経緯、導入時の課題等)
- ◆ 中小地方公共団体における課題把握を中心に実施(下水道事業の課題、新技術のニーズ等)
- ◆ 中小地方公共団体の支援者における課題把握(補完を行う上での課題、新技術のニーズ等)

区分	対象団体	日付	備考
好事例	小松市 豊橋市	10/6 11/24(予定)	処理場再構築実施中(B-DASH技術導入) 施設再構築、バイオマス利活用PFI
中小地方公共団体	津幡町 紫波町	10/6 10/24(予定)	
中小地方公共団体の支援者	愛知県水と緑の公社 長野県下水道公社 ウォーターエージェンシー 管清工業	7/29 10/5 10/5 (未定)	

すでに実施済みのヒアリング結果の一部は、資料-6に反映した